

決算特別委員会の審査

平成22年度決算議案の審査をするため、決算特別委員会を設置し、9月21日、22日、26日の3日間、審査が行われました。5議案が賛成多数で13議案が全会一致でいずれも認定されました。主な質疑と答弁は次のとおりです。

一般会計

質疑 固定資産税の評価替えは何人で行っているか。

答弁 3年に1回行っている、来年度は評価替えの年です。現在15人で行っているが負担調整率の面から評価は下がっても税額は高くなることもあります。

質疑 保育料、給食費不納欠損額と高額収納未済額は、また、子ども手当からの天引きの考えは。

答弁 保育園保育料は5件であり、公立2件、民間3件である。幼稚園はありません。給食費の未収金は7万円程度が最高です。子ども手当からの天引きは現在検討中です。

質疑 平成22年度は実質赤字決算である。市の考えは。

また、場当たりの政策に思える。自主財源を考えるべきである。

答弁 平成21年度対比で22年度は赤字圧縮できたが特別会計の赤字の主なものは介護保険での支出が大でした。実質単年度収支の圧縮に努力していく。自主財源確保の基本は企業誘致である。今後は有馬企業団地を含めての見直しを行っていく必要があります。

質疑 自主財源が平成21年比12億円減収し、繰入金が10億減、市債が10億多くなっている。渋川市としての市債発行額はどの程度まで許せるのか。

答弁 合併時、市債には一定の目途があり、合併特例債を25億円程度に抑制しようという考えがあった。今

後、臨時財政対策債を活用し、一般債を控えていく。

質疑 固定資産税の不納欠損額、滞納額の法人の内訳は、特別土地保有税は15年以降課税されていない。何か、今後の見通しは。

答弁 法人と個人に分けていないので報告できない。特別土地保有税は、小野上地区大規模開発業者1社のみです。市としては不動産を差し押さえているが現状では公売は難しい。慎重に検討したい。

質疑 小野上大規模開発の休止、廃止は大きな問題、債権者との話し合いの検討、県へのトップセールスの考

えは。

答弁 乱開発等を含め小野上村当時から取り組んできた。債権者については調査し、検討していきます。トップセールスについては今後詰めていきます。

質疑 文化行政の活動と成果は。

答弁 平成21年度に設立した文化行政懇談会は一定のテーマを持って進めている。平成22年度は4回実施している。また職員、議員を対象に文化行政講演会を行っています。

質疑 地理情報システム整備統合事業計画は。

答弁 都市計画地図を使用している。平成26年にサービスを開始できるようにしたい。

質疑 NPOボランティア支援事業の内容について。

答弁 アンケートを通じて対応しているが、徐々に向上していると思う。災害ボランティアについては、県内避難者へのボランティアをしたいという問い合わせが4件あった。

質疑 防犯灯のLED化は何基行ったのか。

答弁 平成22年度は123基のLED化を行った。

質疑 自治会支援金は何を目的にした補助金か。

答弁 450万円はそれぞれの自治会へ行政事務委託費として補助している。

質疑 地上デジタルテレビ放送事業の進捗状況は。

答弁 すべて終了している。

質疑 乗合バス運行路線の見直しはあるのか。

答弁 始発、終発共1人も乗っていない所は休止等を検討し、路線の見直しを行っていく。

質疑 消防団員の充足率は。また女性の消防団員入隊の可能性は。

答弁 条約定数688人で、現在の消防団員は592人を確保している。女性については現在ラップパ隊に確保している。女性隊員は過去にはいたが、今後は条件整備や団員の意見を聞きながら検討していく。

質疑 自動車借上料のタクシー券は何回使用したのか



県代表となった女性防火クラブ

大幅な予算超過は補正を行うべきです。市民の声を聞くための利用と言っているがそれほど重要であればまとめて提出してほしい。

【答弁】市長、副市長、教育長の自宅までの自動車借上料です。内訳は、利用回数で180回。金額では市長41万6450円、副市長40万4500円、教育長1万5700円、その他4万1520円です。より良い多くの円滑な市政実現のために利用しました。

【質疑】住宅発電の実態は、また申請者の平均的出力はどのくらいか。

【答弁】決算時平均3・94キ



恒例となった行幸田そば祭り

ロワット。10万キロワット以上は補助していません。

【質疑】敬老祝金支援支給事業はいつまでやるのか。

【答弁】廃止、縮小を含め検討中です。

【質疑】じん芥処理事業平成22年度委託業者名と臨時職員数は。

【答弁】1社で環境整備事業協同組合です。なお臨時職員は3名です。

【質疑】社会福祉協議会への交付金は何に使われているのか。

【答弁】法人の事業運営に對しての交付金です。

【質疑】スカイランドパークの入園料は無料にしてもよいのでは。

【答弁】11月1日から平成24年2月末日まで入園無料にする予定です。

【質疑】小野子山登山道、子持山登山道の維持管理事業はどのように行われているのか。

【答弁】小野子山登山道はパンフレット印刷料、山道点検と草刈り、トイレの整備です。子持山登山道は、ト

イレリース料金、木道、太鼓橋の修繕です。

【質疑】日帰り温泉券1回を4枚にできないか。

【答弁】現在の3枚、年3回を踏襲していく考えです。

【質疑】特別支援教育1年の成果は。

【答弁】特別支援教室は小学校のみで、対象児童は増加。支援員の確保が大変で、県へ人員配置の要望を行っていきます。

【質疑】青少年推はボランティア事業。予算化すべきでは。

【答弁】活動への手当てを支給している自治体もある。

他地区の状況を含め検討する余地はあると思います。

【質疑】中山間事業は水田を対象にするのではないのか。

【答弁】農業の担い手育成、今後目指すべき農業研究の補助金です。

【質疑】市道沼辺町田線の進捗状況は。

【答弁】平成22年度で国道17号線の東側は完成、西側は工事進行中です。

【質疑】赤城白樺線の工事内容について、トンネルを造

るのか。

【答弁】全長で6・6km、計画にトンネルはありません。

【質疑】そば祭り、土地取得の経緯と所管課は。

【答弁】行幸田運動公園として取得、管理は教育委員会です。

【質疑】こんにゃくの消毒トラブルについての対応は。

【答弁】年1回農業の適正使用の講習会を開催し、関係の指導を行っております。

特別会計

【質疑】介護給付制限の実態は。

【答弁】給付制限対象が5件あったが相談等に対応し、給付制限は行っていません。

【質疑】後発医薬品等のメリットをどう考えているのか。

【答弁】後発医薬品は今後推奨していき、効果については今後分析をしていきます。

【質疑】赤城診療所の統合による統合メリットと評価は。

【答弁】患者数は増えていますが、現時点での効果は出ていないが今後は出てくると考えます。

【質疑】高齢者虐待の実態は。

【答弁】平成22年度は相談、通報22件中9件確認しています。目の届くような対応、啓発活動等を行い早期発見の対応をしています。

【質疑】渋川総合病院の成果は。また今後統廃合によりリニアックの扱いは。

【答弁】放射線治療については入院352人、外来286人、群大の紹介11人、その他病院の紹介25人です。また統廃合によるリニアックについては今後西群馬病院と協議によりその取り扱いを進めていきます。

【質疑】総合病院の准看護師は11名で22%。准看護師を看護師が集まらなくて採用か。集める政策で採用か。

【答弁】基本的には看護師をシフトしていますが准看護師も採用しています。また現在2名の嘱託准看護師が通学しながら働いています。

【質疑】総合病院の収支、統合までどのくらいに抑えていくのか。

【答弁】改革プランに沿って行っていきます。